

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（交通施設：居屋敷・七夕坪線）整備事業						
補助事業者名	みやこ町長						
実施場所	福岡県京都郡みやこ町勝山箕田						
補助事業の成果の目標	町道居屋敷・七夕坪線は勝山箕田地区の重要な生活道路であるが、道路舗装の老朽化により、路面のひび割れや陥没があるなど、交通の安全性から改善を要する状況にある。このため道路整備を行い、地域住民の生活基盤の整備を図る。						
補助事業の内容	舗装工事 延長 L=653.4m 幅員 W=4.0m						
補助事業の始期及び終期	平成23年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		23年度	24年度	25年度	26年度		計
	事業費	円 9,765,000	円 9,555,000	円 7,770,000	円 9,504,000		円 36,594,000
	交付金額	9,200,000	9,300,000	7,000,000	9,100,000		34,600,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>工事を行ったことにより、路面の陥没等が解消され、交通の安全性を確保することができた。また、地域住民から「陥没がなくなり通行が安全で容易になった」との意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することが出来た。</p> <p>町報への記載及び工事施工時に設置する工事看板、地元へのお知らせに特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

- 注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
- 2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（交通施設：黒田原・深治線）整備事業						
補助事業者名	みやこ町長						
実施場所	福岡県京都郡みやこ町勝山黒田						
補助事業の成果の目標	町道黒田原・深治線は、地域住民の重要な生活道路であり、通学児童等歩行者も多い。ところが、経年劣化による路面の不陸やひび割れが多く発生しているため、車両の振動等、走行に支障を来している状況にある。また、側溝の断面不足による雨水の道路への溢水や路面の不陸部分に雨水が滞留するため、歩行者の通行に支障を来している。このため道路改良を行うことにより、車両の走行性の改善及び歩行者の通行性の向上等、交通の円滑化を図り、地域住民の生活基盤の整備を図る。						
補助事業の内容	改良工事 延長 L=522m 幅員 W=4.0m						
補助事業の始期及び終期	平成24年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度			計
	事業費	円 7,279,650	円 9,201,150	円 10,400,400			円 26,881,200
	交付金額	7,000,000	8,700,000	10,200,000			25,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>工事を行ったことにより、路面の不陸及び雨水の滞留が解消されていること現地で確認した。また、地域住民や通学する生徒から「水溜りが解消されて通行が安全で容易になった」との意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することが出来た。</p> <p>町報への記載及び工事施工時に設置する工事看板や地元への施工通知に特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を明記し周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（交通施設：芝原・古屋敷線）整備事業					
補助事業者名	みやこ町長					
実施場所	福岡県京都郡みやこ町勝山松田					
補助事業の成果の目標	町道芝原・古屋敷線は勝山松田地区の重要な生活道路であるが、舗装の老朽化による路面のひび割れや陥没により車両が振動する等、車両走行に支障を来している。 このため道路舗装工事を行い、車両の走行性の改善を図る。					
補助事業の内容	改良工事 延長 L=1250.0m 幅員 W=5.0m					
補助事業の始期及び終期	平成23年度～平成26年度					
事業費及び交付金額		23年度	24年度	25年度	26年度	計
	事業費	円 11,529,000	円 7,770,000	円 9,775,500	円 7,452,000	円 36,526,500
	交付金額	11,520,000	7,490,000	9,200,000	3,521,000	31,731,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>工事を行ったことにより、路面の陥没等が解消されていること現地で確認した。また、地域住民から「陥没がなくなり通行が安全で容易になった」との意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することが出来た。</p> <p>町報への記載及び工事施工時に設置する工事看板、地元へのお知らせに特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：水道施設更新計画策定）整備事業						
補助事業者名	みやこ町長						
実施場所	福岡県京都郡みやこ町 豊津本庄地区・勝山中央地区						
補助事業の成果の目標	みやこ町の水道施設は、浄水場1箇所、配水池6ヶ所、配水管約200Kmが整備されており、今後、それらの水道施設の多くで更新の必要が予測される。みやこ町では、より安定性の高い水道施設の構築を実現するため、経過年数だけではなく、これまでの漏水事故等の実績や耐震性も考慮して更新対象施設を選定する必要がある、故障や漏水事故等に対して事後対応的な方法ではなく予防保全的に対応するべきと考えから、豊津本庄地区、勝山中央地区について水道施設更新計画を策定する。						
補助事業の内容	更新計画一式						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 13,491,000	円	円	円	円	円 13,491,000
	交付金額	13,491,000					13,491,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	策定した更新計画に基づき、更新工事を実施していくため、実施設計を行える状態を整えた。また、計画の内容を町HP・町報へ掲載し、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を明記し周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
 2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：みやこ町学校教育振興基金）						
補助事業者名	みやこ町長						
実施場所	福岡県京都郡みやこ町勝山岩熊554番地諫山小学校ほか9校						
補助事業の成果の目標	みやこ町立小学校及び中学校では、児童生徒の確かな学力を身につけるため、毎年きめ細かな指導を行えるような人的配置を行ってきた。この事業を継続していくためにみやこ町学校教育振興基金を設置し、少人数学級、複式学級及び中学校の教科学習指導へ常勤又は非常勤講師を適正に配置することにより、児童生徒の学力の向上に寄与させるものである。						
補助事業の内容	少人数学級常勤講師 1人、複式対応非常勤講師 7人、中学校教科指導非常勤講師 8人(平成26年度)						
補助事業の始期及び終期	平成24年度～平成36年度						
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度			計
		円	円	円	円	円	円
	基金造成額	84,450,000	80,340,000	31,690,000			196,480,000
	市町村費等	0	0	0			0
	運用益	0	168,900	275,351			444,251
	計	84,450,000	80,508,900	31,965,351			196,924,251
	基金処分額	0	31,300,000	25,500,000			56,800,000
基金残額	84,450,000	133,658,900	140,124,251				
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査や福岡県が実施する福岡県学力実態調査の結果、小学校及び中学校において正答率は年々改善傾向である。また、学校長からの聞き取りを実施したところ、「教員の個別指導が有効であった。」などの意見であり、学力向上に寄与することができたと考える。周知については、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを広報誌、ホームページで掲示した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。